

令和3年7月1日

関係各位

(一社) 日本実装技術振興協会
定例講演会
会長 嶋田 勇三

第209回定例講演会のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のことお慶び申し上げます。
さて、日本実装技術振興協会の第209回定例講演会の内容が決まりましたのでお知らせいたします。
今回も新型コロナウイルス感染症対策のため、WEB会議システム（zoom ウェビナー）を利用した開催となります。会場開催での定例講演会と申込内容や開催形式が異なりますので、ご確認いただけますようお願いいたします。
ご多忙の中恐縮でございますが、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。
ホームページやFacebookでも同定例講演会の情報を配信します。

敬具

記

1. 開催日時：令和3年7月15日（木）定例講演会 13：10～17：00

2. 開催方式：WEB会議システム「zoom ウェビナー」
（参加申し込みをされた方に後日、招待メールをお送りします）

3. プログラム：“New Normal 時代に求められる実装技術
—コロナ下のヒット商品から紐解く—”

13:10～14:10 プログラムテーマ①	『タッチレス空中インターフェースの概要と社会実装の動向』 宇都宮大学 工学部 基盤工学科 教授 山本 裕紹 氏 講演内容：SF映画に登場するような何もない空中に映像を表示する空中ディスプレイが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点で注目されている。空中に映像を表示する原理や光学設計について解説を行った後、タッチレスの空中インターフェースを含む各種の社会実装の動向について紹介する。空中ディスプレイの性能は結像用の光学部品の高精度加工技術や高機能材料やこれらを統合する実装が重要である。国際競争力を示すには、要素技術の知財だけでなく性能評価指標の標準化が必要である。国際電気標準会議（IEC）において講演者がプロジェクトリーダーを担当している空中ディスプレイの標準化の動向について解説する。
14:10～14:50 プログラムテーマ②	『赤外線カメラとその応用』 日本アビオニクス（株）赤外線サーモグラフィ事業部 アプリケーション 技術部 松本 昂大 氏 講演内容：赤外線の歴史は、1800年にW.Herschel（英）が発見したことから始まり、その後多くの研究がなされ、現在では広い分野でその技術が応用されている。その一つに赤外線カメラがあり、「全ての物体からは、その温度に関係付けられるエネルギー（プランクの放射則）の赤外線が放射される」という原理から、その赤外線を画像化する暗視カメラや、定量化し温度計測カメラなどに利用されている。近年、非冷却二次元赤外線センサ（UFPA）が開発され、MEMS技術の向上などにより、狭ピッチ・多画素化、高性能化、低価格化が進み、赤外線カメラの様々な分野で利用が拡大している。その種類は使用目的により、保守保全用ハンディタイプ型、研究開発用高性能多機能型、特殊計測用光学フィルタ内蔵型、計測システム用固定設置型など多岐にわたる。本講演では、赤外線カメラの動作原理、特徴、性能・機能を有効に活用するための技術、更にその応用例、最後にスクリーニングシステムについて紹介する。
14:50～15:00	— 休憩 —
15:00～15:40 プログラムテーマ③	『日機装の空間除菌消臭技術—深紫外線LEDと光触媒技術の次世代ハイブリッド技術—』

	<p>日機装（株）ヘルスケア事業担当 UV-LED 事業担当 渡辺 恭介 氏</p> <p>講演内容：同社の空間除菌消臭装置「Aeropure」に搭載の深紫外線 LED と光触媒技術を組み合わせた「AEROPURE TECHNOLOGY」を中心に、開発背景やその技術を説明する。</p>
<p>15:40～16:20</p> <p>プログラムテーマ④</p>	<p>『SIAA の認証活動 《抗菌・防カビ・抗ウイルス加工製品の普及》』</p> <p>（一社）抗菌製品技術協議会 事務局 専務理事 平沼 進 氏</p> <p>講演内容：1. 抗菌加工製品ガイドライン、2. 本会の標準化と認証活動、3. SIAA 認証製品、4. 抗菌加工製品の市場と用途、5. SIAA マークの普及、6. SIAA グローバル展開。</p>
<p>16:20～16:50</p> <p>テクノロジー フィーチャー</p>	<p>『ポストコロナに向けたダイセルの電子材料・加工品』</p> <p>（株）ダイセル 八甫谷 明彦 氏</p> <p>講演内容：新型コロナウイルス感染症によるデジタル化の進展、世界的な半導体需要の逼迫、サステナビリティ意識の高まりなど世界的に大きな変化の中で、新しい社会像、社会的価値観が生まれてきている。ダイセルは100年以上にわたって社会に有益なさまざまな素材を開発・提供しており、社会変化に対応した更なる価値ある製品の提供を目指し、同社の電子材料・加工品を紹介する。</p>
<p>16:50～17:00</p>	<p>『トークセッション』</p> <p>講師の皆様と参加者の皆様とで、意見交換を行う時間を設けます。</p>

4. **参加費：無料。**企業正会員は1社3名まで（この場合は日本実装技術振興協会の会員が対象になります）。ただし、zoom ウェビナーは100名限定のため、これを超える場合は2名までとさせていただきます。ご了承ください。また、同じ名前とメールアドレスで複数の方が入室した場合、システム上、入室した人数分利用者がカウントされます。1登録者1名様のご利用でお申込みください。

5. **参加申し込み：**ご出欠については、同送致しましたご出欠連絡用紙にご記入の上、E-mailにて **令和3年7月7日（水）迄**にお申し込みいただけますようお願いいたします。

講演2日前までに、ご参加者各人に招待メールをお送りしますので、ご参加者全員の氏名・メールアドレスをご連絡ください。また、zoom ウェビナーに参加される際には、ご連絡いただきましたメールアドレス・参加者氏名でログインするようにお願いいたします。セキュリティの関係上、名簿と合致しない場合、zoom 定例講演会から退場していただく場合がございます。参加者が変更する場合はご連絡ください。

※講演資料は、個人会員と、企業正会員は登録代表者（連絡担当者）に講演日1週間前に郵便で発送させていただきます。

ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせ下さいませようお願い致します。

事務局：一般社団法人 日本実装技術振興協会事務局 担当/相良(サガラ)・太田
携帯：090-5403-1147 (相良)、090-5301-9467 (太田)

E-mail: j.jisso.org@gmail.com

URL : <http://www.j-jisso.org/index.html>